



2013～14 年度
国際ロータリー会長

Ron D. Burton

Weekly Report Niigata



2013～14 年度
新潟ロータリー会長

山本 正治



ロータリーを實踐し みんなに豊かな人生を

2013～14 年度 国際ロータリーのテーマ

新潟 RC 10月第 5例会 (2013.10.29) No.3015

(1) ロータリーソング「我らの生業」斉唱

(2) 山本 正治会長挨拶

先週、あるロータリークラブの例会に出席して、ある光景を目にしました。会長が点鐘しようとした時、あるべき所に鐘がなかったのです。皆さんあっ気にとられていましたが、微笑ましい雰囲気醸し出していました。皮肉屋の私は、会長が“受けを狙って”意図的に仕組んだのではないかと疑ったほどでした。

私は会長として今日の例会を含めて 33 回の点鐘を行いました。自分で点鐘をしながら、なぜロータリークラブは、点鐘で始まり、点鐘で終わるのか不思議に思いました。特に日本のロータリークラブは点鐘を徹底しやっております。全国のロータリークラブの週報をつぶさに調べますと二つの特徴があります。1 点目は会長が点鐘を忘れると“罰金もの”と考えており、日本のロータリーは点鐘なくして始まりも終わりもありません。2 点目は世界各地の例会では点鐘が珍しいと紹介されています。今日は「点鐘は世界の非常識か？」についてお話しします。

(引用始め) 私が参加した 10 回ほどの国際大会は、開会宣言で始まり、蛍の光で終わり、点鐘はありませんでした。例会は、国やクラブによってかなり違いますが、点鐘を鳴らすのは珍しい部類に入るとは思いませんか。ヨーロッパや東南アジアでは、何時始まって、何時終わるのか、さっぱり判らない例会も珍しくありません。アメリカでは点鐘を鳴らすクラブもありますが、法廷やオークションで使う木の板を木槌でコンコンと鳴らす光景をよく見かけます。それも開会や閉会の時に儀礼的に鳴らすのではなく、スピーチを始める前などに注意を喚起するために使うことが多いようです。(引用終わり)

日本の常識が世界の非常識であると信ずる“へそ曲がり”の私は、点鐘が世界の非常識かどうか調べてみました。参考になる情報があります。それは新しいロータリークラブをつくる時に誰が鐘を準備するかです。新クラブの申請にはスポンサークラブが介添えますが、両クラブの関係者が申請書を作成し国際ロータリー日本事務局で届けます。最終的には国際ロータリー会長が署名し加盟が認められます。その後地区ガバナーに加盟認証状が伝達されます。しかし加盟の際、国際ロータリーの責務として新しいクラブのための旗や鐘を授与するとは記載されていません。

『新クラブを結成する。地区ガバナーおよび特別代表のための手引き』によりますと、新クラブの旗や鐘は、スポンサークラブなどからもらうのが慣習です。また既存のクラブで鐘が必要になった時は、会員の長老が寄贈したり、会員自身が購入したとの報告もあります。この調査から、私は一つの結論に達しました。それはスポンサークラブなどが鐘を寄贈するのが今までの慣習でしたが、それを使うかどうかは各ロータリークラブで考えが異なります。日本は国際ロータリーの慣習を忠実に守っているが、世界の多くは守っていません。慣習を守ることが世界の非常識になっているとなれば残念です。

さてここで、ロータリークラブでなぜ点鐘が始まったのかについて調べてみました。15 世紀から 17 世紀前半にかけての大航海時代の慣習に従っているようです。帆船時代の船乗りは 4 時間ごとの交代勤務で、30 分ごとに点鐘し時間を知らせました。仮にロータリー例会が始まる 12 時 30 分に 1 打点鐘としますと、13 時に 2 打点鐘、終わる 13 時 30 分には 3 打点鐘となります。いくつ打ってもロータリー定款に違反しないので、私は年末最後の例会では思い切り 108 回打ってみたい欲望にかられています。

点鐘の習慣が、いつどこで始まったのか私には分かりません。好奇心は尽きませんが、ロータリークラブの点鐘が大航海時代の習慣に由来しているとなると、時間を告げるのが目的だったはずですが、例会が終わった時に鐘を鳴らすのではなく、時間を守って閉会するためのものです。特に時給が何万円にもなるロータリアンにとって、まさに“時は金(鐘)なり”です。ロータリーの例会は時間を大事にしたいと思います。

(3) ビジターの紹介・挨拶

Dr. Bockhold Wolfgang (Friedberg RC)

2 年ぶりですが皆様にお会い出来て嬉しいです。退職後は前より忙しいです。

(4) 委員会報告

・本間 彊 インターアクト委員長より

IA は青少年奉仕の大きな柱です。市内には 5 つあります。5 つの IA が 12/23 に集結し献血呼びかけをしています。16 年目になります。IA の中では一番大きな事業です。皆様からの協賛金を元に活動を展開しています。皆様に配布したお願い状に記載の通り、一口 5000 円

の御協力を是非、よろしくお願い致します。

- ・高木職業奉仕委員長より本日の職場訪問のご案内
本日の職場訪問、28名の予定です。13:40
バスが発致します。
- ・山田 隆一野球同好会幹事 市内RC野球大会が
雨天の為、来年4月5日に延期になりました。夜
は懇親会が開催され、じゃんけん大会で3位でし
た。選手の皆さんは自主トレに励んで下さい。

(5) 各種ご寄付の発表

ロータリー財団寄付発表(織戸 潔副委員長)

徳永 昭輝君

米山奨学会寄付発表(徳永 昭輝委員長)

白勢 仁士君 相澤 信介君

小木 順一郎君

青少年育成基金寄付発表(柴田 史郎委員長)

細野 義彦君

(6) ニコニコボックス紹介

・道端 順二君 先週、娘の結婚式でハワイに行って来まし
た。複雑ですがニコニコします。

・金親 顯男君 先日の7クラブ野球大会は残念ながら雨
で流れましたが、夜の会も流れたと思い、出席しませ
んでした。高橋監督始め、皆様に申し訳なく、おわびの
意味を込めてニコニコします。

(7) 卓話「今冬のあらし」

未来観測研究所所長 工学博士 酒井與喜夫 氏



(8) 本日の出席率 81.61 %

(2週間前メイク後 88.51 %)

11月5日の例会予定

卓話 「新潟での14年目」

新潟アルビレックスBBヘッドコーチ 平岡富士貴氏

新潟ロータリークラブ会員専用ホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>

会員専用ページログイン情報

ユーザーID niigata

パスワード rcrarc

新潟駅付近連続立体交差事業見学会行程

日時:2013年10月29日(火)14時~16時00分頃

参加者:28名

応対者:新潟市 新潟駅周辺整備事務所

JR東日本 上信越工事事務所 新潟工事区

JR東日本 新潟支社 総務部 企画室

行程:

13:40 イタリア軒よりバスで出発

14:00 JR東日本 新潟工事区集合

14:10~ 事業概要及び高架化工事進捗状況説明
(新潟市)(30分程度)

14:40~ 新潟駅構内現場見学(40分程度)

15:20~ 白山駅へ列車で移動

15:30~ 白山駅構内現場見学(30分程度)

16:00 白山駅からバスでイタリア軒まで移動

